

知るぽると

www.shiruporuto.jp

金融広報中央委員会

大人の
ための

お金の知恵と生活

金融広報中央委員会
(事務局・日本銀行情
報サービス局)が発刊
した「大人のためのお
金と生活の知恵」(ホ
ームページ「知るぽる
と」でもご覧になれま
す)の中から、生活に
役立つお金の知恵をご
紹介しています。

前回は、生活費を見
直す知恵をご紹介しま
した。今回は、お金の
貯蓄、運用において大
切な知恵、「複利の力」
をご紹介します。

お金の大きな特徴
は、「利子」がつくこ
とです。お金を借りる
と利子を支払わなけれ
ばなりませんし、お金
を運用すると利子をも
らうことができます。
そして、「複利」とは、
利子も運用すると、そ
の「利子」にまた「利
子」がつくということ
です。

例えば、100万円
を金利(年利)3%で
運用した場合、1年後
には103万円。これ

貯蓄・運用の知恵 複利は庶民の味方

を、利子3万円を含め
てもう1年運用する
と、1年後には106
万円ではなく、106
万900円になりま
す。1年目についた利
子3万円にも3%の利
子900円がつくため
です。このように、も
らった利子も運用する
と、10年後には130
万円ではなく約134
万円、20年後には16
0万円ではなく約180
万円になります。期間
が長ければ長いほど、
複利の力は大きくなり
ます。

1年分の利子は大し
た金額ではないかもし
れません。しかし、だ
からといって安易に使
ってしまうのではなく、
ためて運用に回すと、
長期的には大きな力に
なります。お金をため
るうえで、複利の力
は、庶民の味方です。

インシュタインも
「人類の最大の発見は
複利である」と話した
と言われています。